

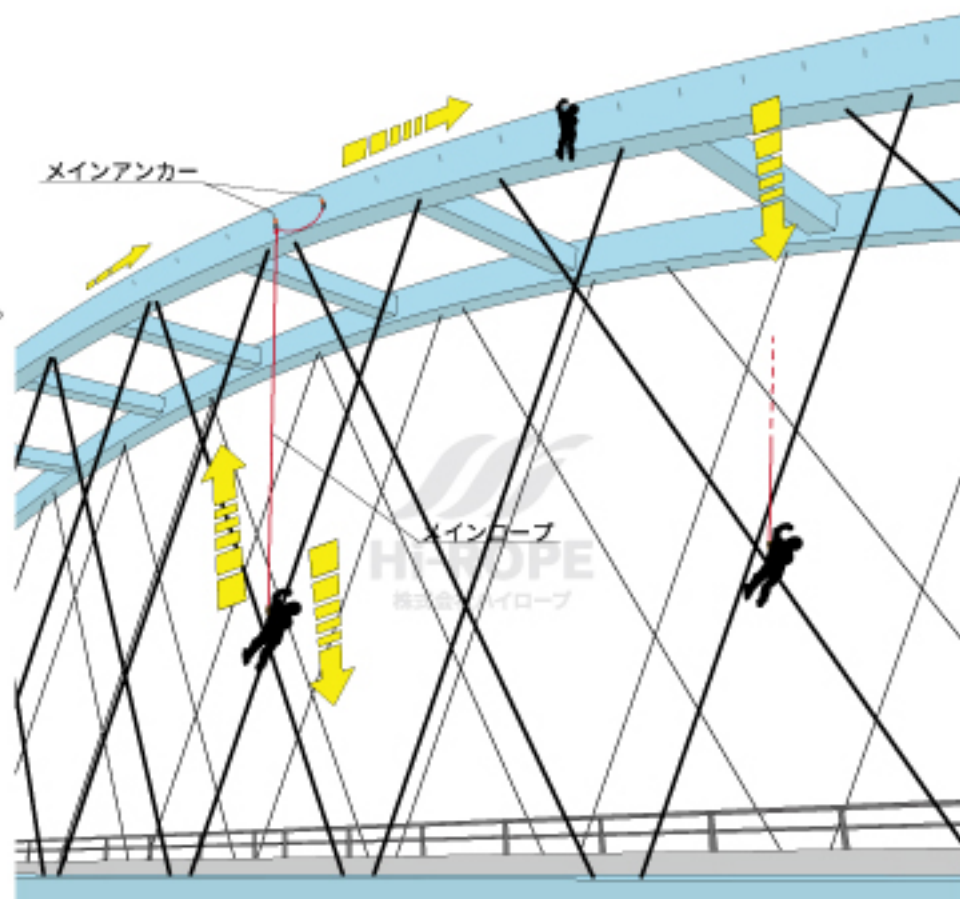
## ニールセン橋点検

### 点検方法

アーチリブの上面または側面を橋軸方向に移動しながら点検を行う。  
ケーブルはアーチリブに支点を作り、下降し点検を行う。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日70m程度



※天候により（雨天・雷・強風）  
作業中止する場合があります。

HI-ROPE

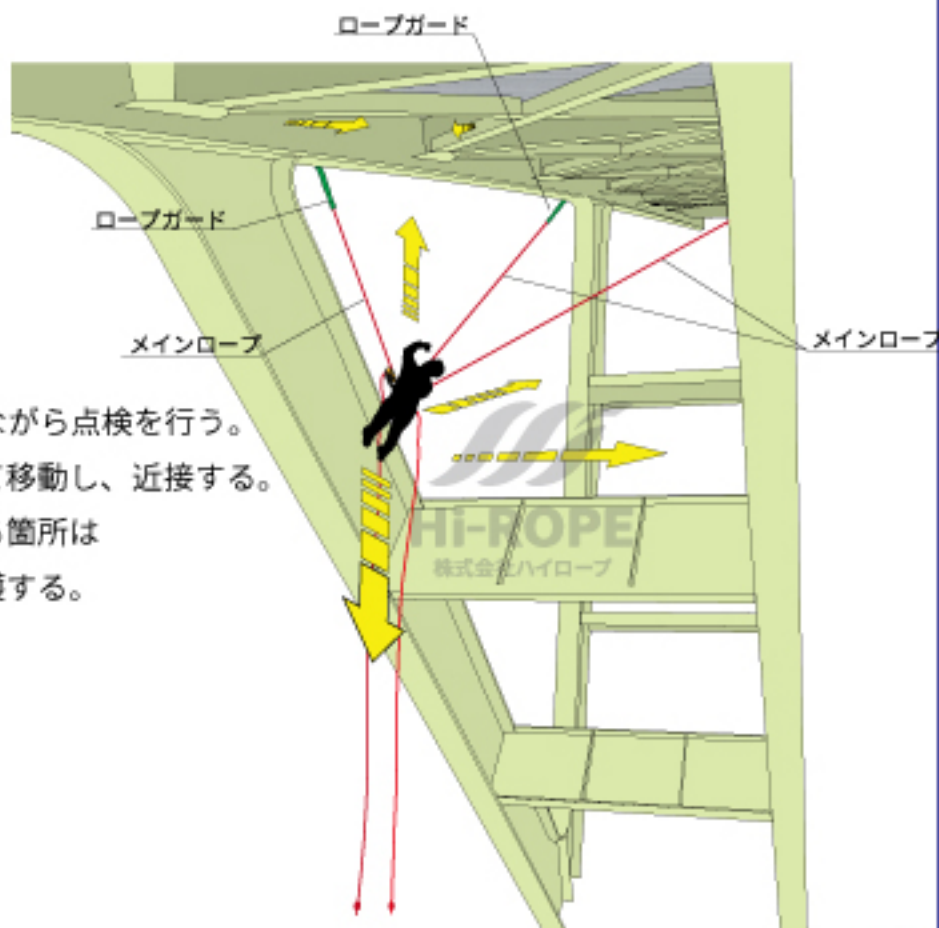
## ラーメン橋点検

### 点検方法

ロープを2本使い橋軸方向に移動しながら点検を行う。  
床板の点検をする際は下横構に沿って移動し、近接する。  
地覆等、ロープが擦過する恐れのある箇所はロープガードを設置し、ロープを保護する。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日30m程度



HI-ROPE

## トラス橋・アーチ橋（上路）点検

### 点検方法

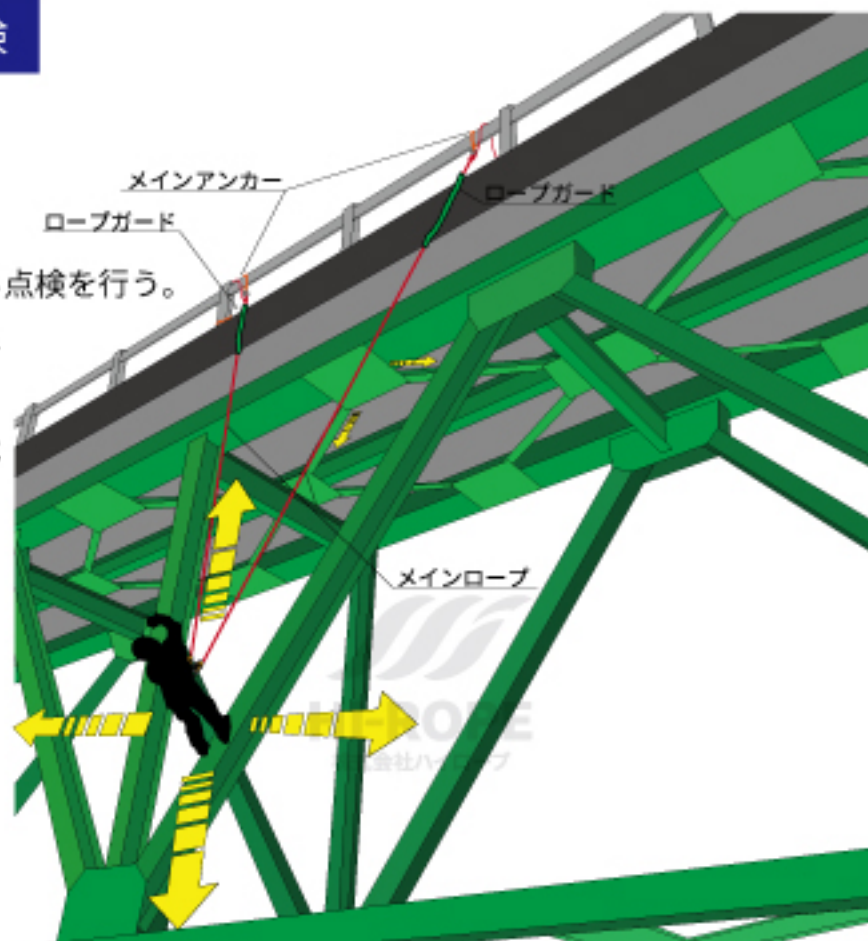
ロープを2本使い上下左右に移動しながら点検を行う。

床板の点検をする際は上横構を沿うように移動し、近接する。

地覆等ロープが擦過する恐れのある箇所はロープガードを設置し、ロープを保護する。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日 50m 程度



## トラス橋・アーチ橋（下路）点検

### 点検方法

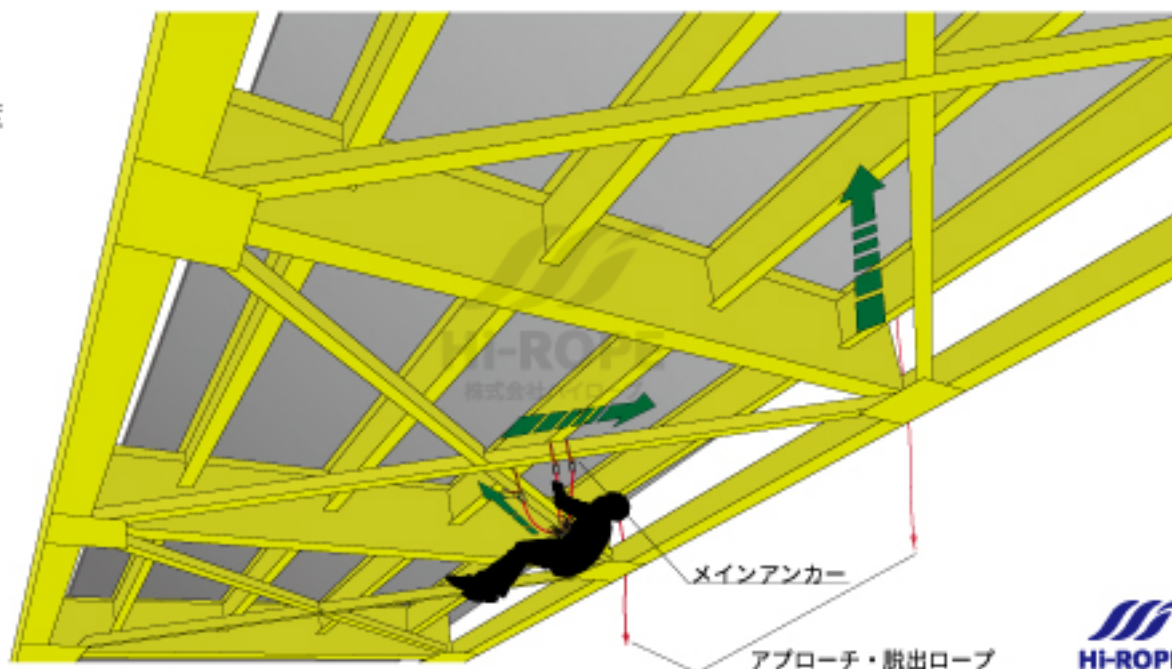
橋面から桁下まで降りた後、下横構を沿うように移動しながら点検を行う。

床板の点検をする際は下横構に上り、近接する。

1箱の点検が終われば橋面に上がり、次の箱に支点を移動させ同様に点検を行う。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日 40m 程度



※交通量が多い場合、橋面には上らず下弦材の上を移動し作業が可能。

## 斜張橋点検（主塔・ケーブル）

### 点検方法

主塔頂部から下降し点検を行う。  
主塔部の点検は、ロープを2本使い左右に移動しながら行う。  
ケーブルの点検は、ケーブルにベアリング付きロープとバックアップロープを巻き、ケーブルに沿って下降しながら行う。  
1度の下降でケーブル3本程度の点検が可能。

### 点検速度 [参考数値]

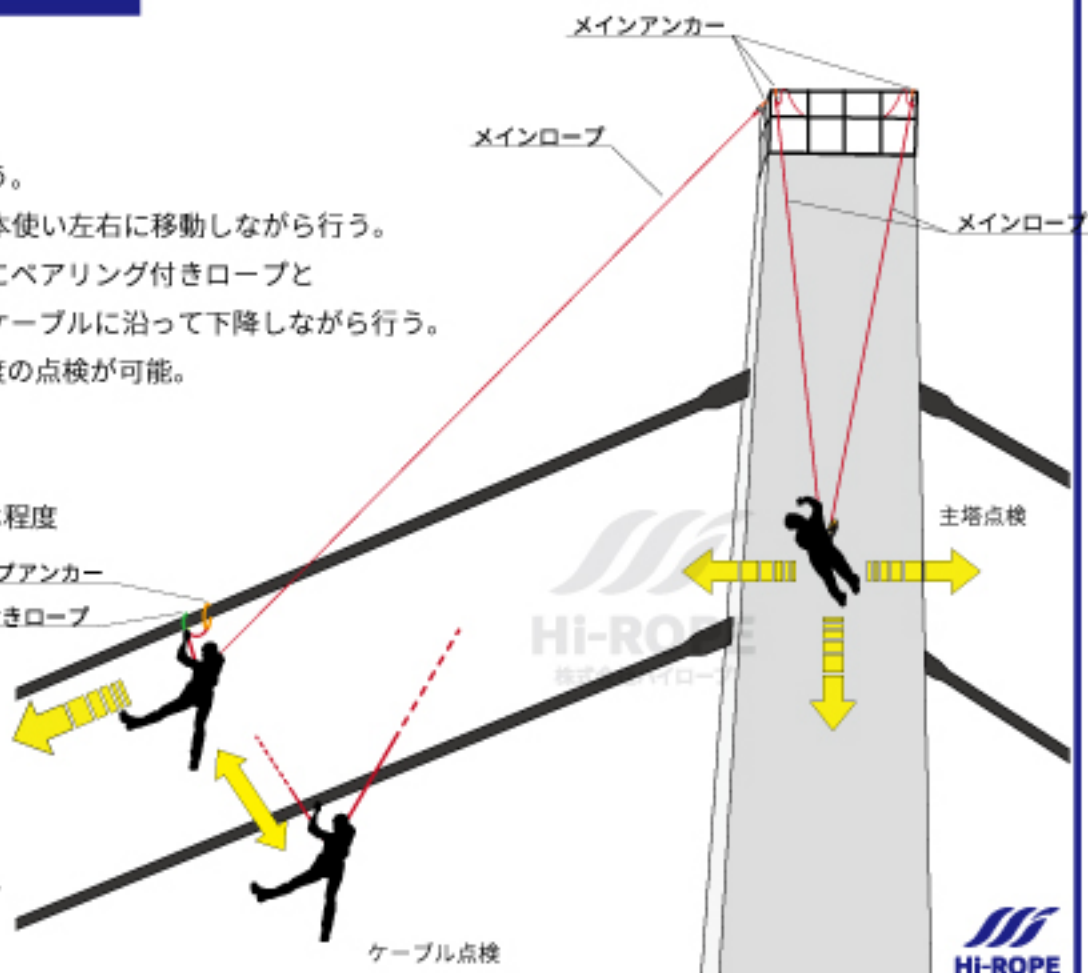
主塔：2人1日高さ100m1本程度

ケーブル：2人1日10本程度

バックアップロープ  
ベアリング付きロープ

※主塔頂部まで階段などが無い場合は、アンカーを打ちながら登ることも可能。

※天候により（雨天・雷・強風）作業中止する場合があります。



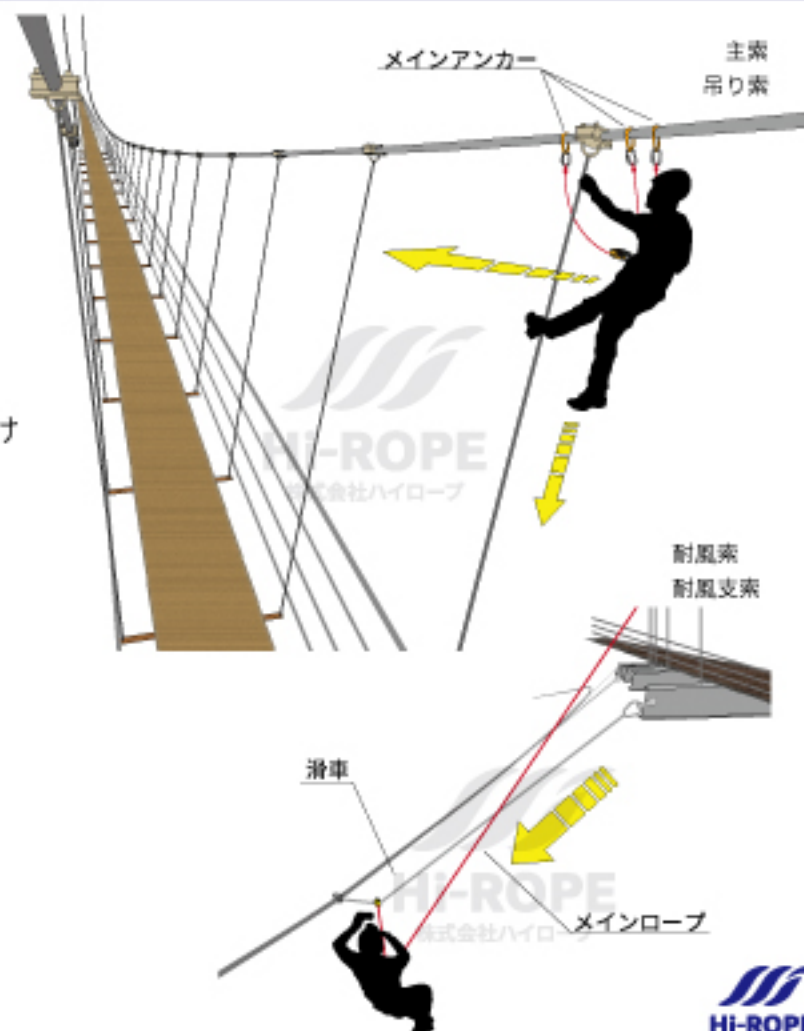
## 吊り橋点検

### 点検方法

主索・吊索は、主塔頂部から主索に沿って移動しながら点検を行う。  
耐風索・耐風支索は、耐風支索に滑車を付け下降しながら点検を行う。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日40m程度



※天候により（雨天・雷・強風）作業中止する場合があります。

## 歩道橋点検

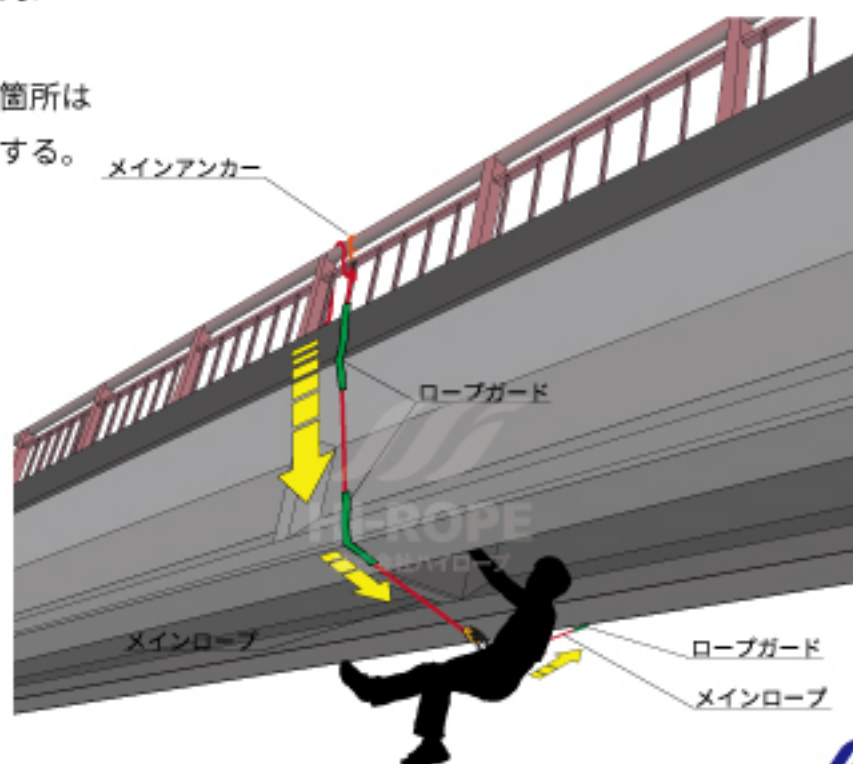
### 点検方法

ロープを上下流に設置し、橋軸直角方向に移動しながら点検を行う。

地覆等、ロープが擦過する恐れのある箇所はロープガードを設置し、ロープを保護する。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日 100m 程度



HI-ROPE

## 橋脚・橋台点検

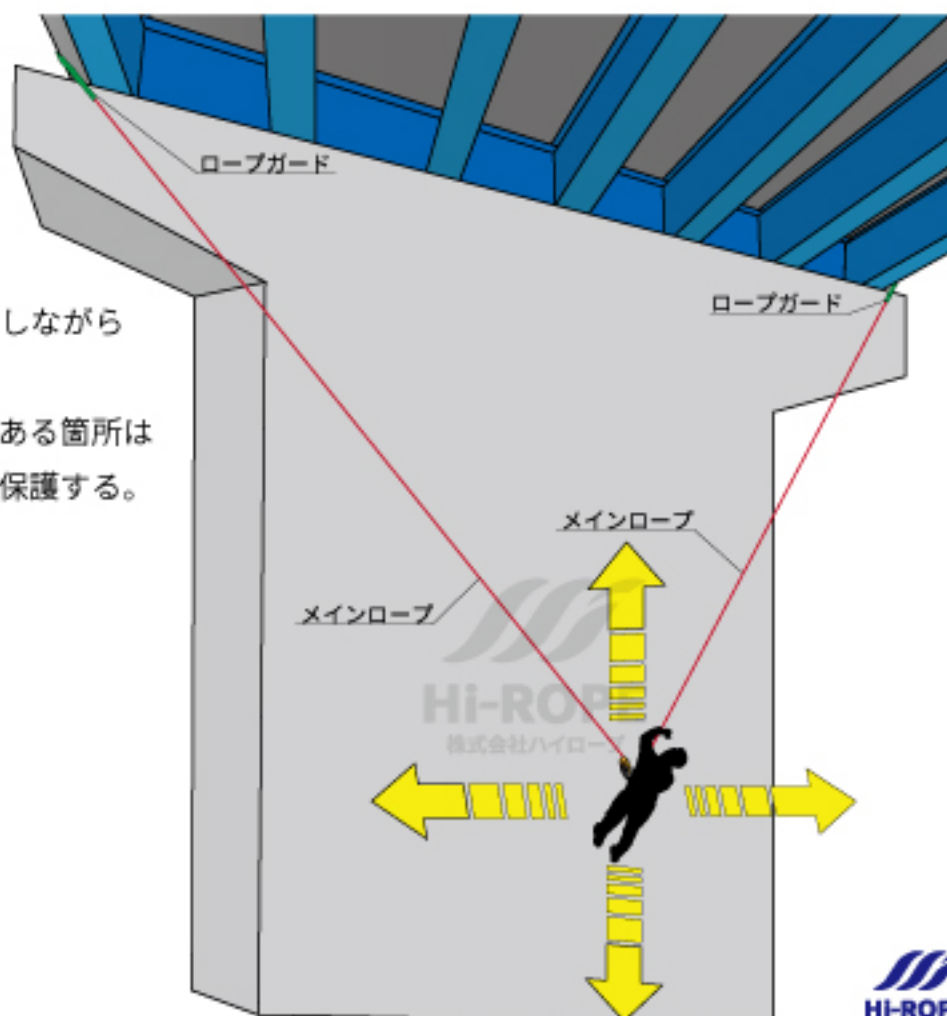
### 点検方法

ロープを2本使い上下左右に移動しながら点検を行う。

地覆等、ロープが擦過する恐れのある箇所はロープガードを設置し、ロープを保護する。

### 点検速度 [参考数値]

2人1日 高さ 60m 1本程度



HI-ROPE

## 鈹桁橋点検

### 点検方法

橋軸方向に、1人または2人で横移動しながら点検を行う。

自身の確保支点を必ず2点以上にするため、進行方向に3点目の支点を作り、後方の支点を解除して進む。

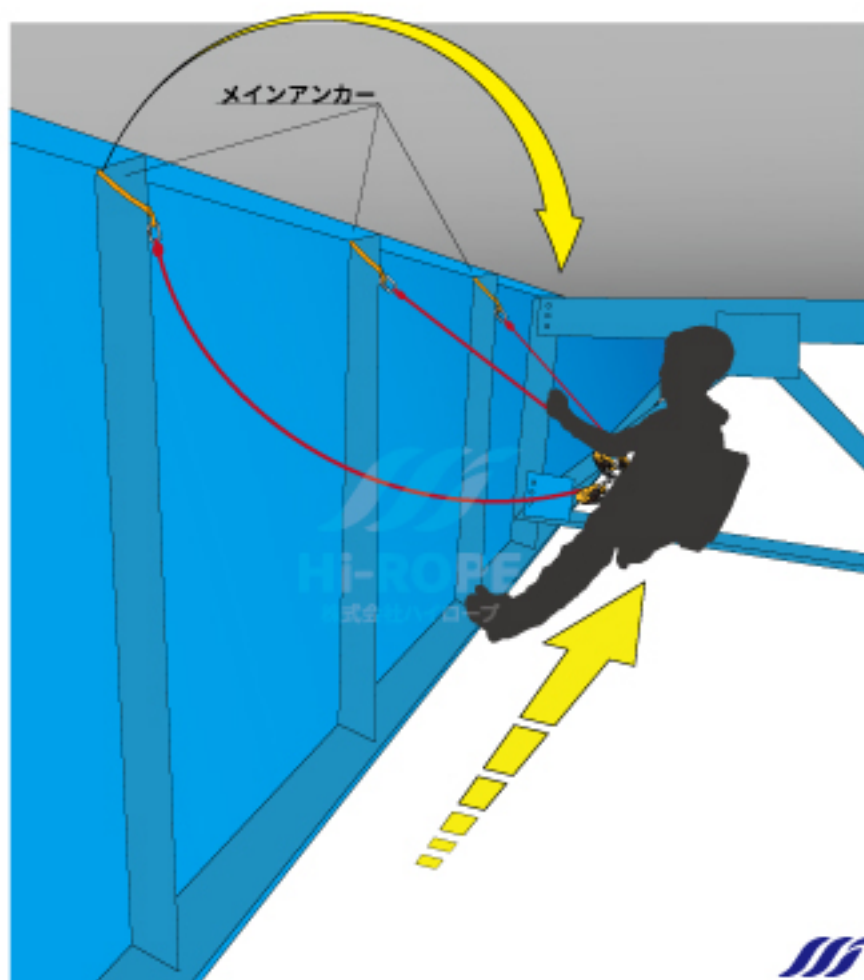
桁高が2m程度まで、支点間の距離が近ければ1人で点検を行う。

条件が悪い場合、2人1組で1人が進行方向に支点を作り、もう1人が後方の支点を解除して点検を行う。

### 点検速度 [参考数値]

1人1日 1列 100m程度

2人1組 1列 70m程度



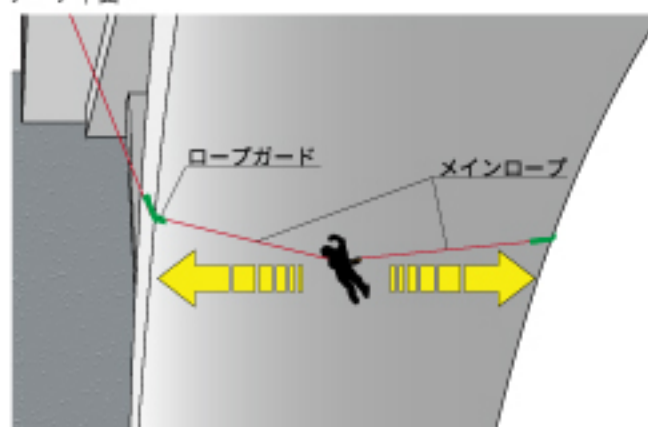
HI-ROPE

## コンクリートアーチ橋点検

### 点検方法

2本のロープを使い上下左右に移動しながら点検を行う。桁下では支点を作ることが難しいため、ロープを張り上面へ近接する。地覆等ロープが擦過する恐れのある箇所はロープガードを設置し、ロープを保護する。

アーチ下面



アーチ上面  
上部工  
支柱



点検速度

2人1日 30m程度

HI-ROPE